

あの制度のおかげで
とても助かった...

何年前になるかしら...。守山市の「住宅リフォーム助成制度」を活用させてもらって、トイレとお風呂を改修させてもらったわ...。とても助かりました。

今年4月から、新たに耐震とエコを条件にした制度が設けられましたよね。それはそれでとてもいいことなんだけれど、ちょっと利用しにくいというのが正直なところ...。だって、この条件なら大がかりなリフォームになつてしまう。そんなお金はないし、ちよつとリフォームしたいなあという人には、利用しにくいんですよ。だから、以前のような「制度」を復活してほしいです。大工さんや電気屋さんなど、地域の経済の活性化にも大きな効果があると聞いていますよ。

住宅リフォーム助成制度の復活を

請願署名運動にご協力下さい。

滋賀県内で実施している自治体

彦根市、長浜市、大津市、竜王町、愛荘町、近江八幡市、日野町

3年前まで、守山市でも実施
約20倍の経済効果



地域経済活性化に大きな効果
松葉栄太郎さんが語る

いま中小零細業者は、大変です。仕事がない...と建設関連業者の方々は、次々と廃業したり、転職したり...。そうしたなか、この住宅リフォーム助成制度は、業者にとっても、大助かりです。上記の表は、いま県内で実施している自治体です。「市内業者で工事すれば、補助金が受けられ、そのお徳感が次の工事を誘発。補助金でお買い物ができる。業者は仕事が増え、市は税収が増え」つまり市民のみならず、業者のみならず、そして街も喜んでもらえる制度です。ぜひ復活させるために、請願署名にご協力下さい。

守山市は今年度、「耐震改修・住宅エコ」リフォーム助成制度を実施しました。各家庭において、木造住宅耐震改修工事と、住宅エコリフォーム工事を推進する目的で、予算は2200万円。耐震改修も地球温暖化対策も推進が必要なのは誰もが認めるところ。大いに利用したいところですが、家を改修・リフォームしたい時に、気軽に利用できないという側面があります。それだけに、住宅リフォーム助成制度の復活を望む声が強まっています。

「お父さんが車いす生活になったので、家をバリアフリーにしようと思うけど、今度の補助制度は使えるの」という問い合わせがありました。答は、「残念ながら使えません。耐震改修か「住宅エコリフォーム工事」かを兼ねていなければこの制度は使えません。耐震工事も住宅エコ工事にも多額の費用が伴い、やりたいけどそこまでは...となかなかふみ切れないのが一般家庭の実態ではないでしょうか。

「住宅リフォーム助成制度」は、小規模リフォームも対象になり、市民が気軽に利用できるとして全国で評判の制度。とりわけ、利用者のみならず、市内の大工さんや水道屋さんなど地域の仕事興しの起爆剤になると評判です。

守山市でも平成15年度から20年度までは制度があり、それを利用した人たちが喜ばれ、また業者からも喜ばれていたのです。ぜひ、復活させることが街の活性化にもつながります。

現制度の仕組み

- リフォームを「耐震改修」と共にする場合
(全体工事費 - 耐震改修工事費) × 10% 【上限30万円】
国・県の耐震工事補助金とあわせて最高160万円助成
- リフォームを「住宅エコリフォーム」と共にする場合
(全体工事費 - 住宅エコポイント) × 10% 【上限30万円】
国のエコポイントとあわせて最高60万円の助成
- リフォームを耐震改修と住宅エコリフォームと共にする場合
(全体工事費 - 耐震改修工事費 - 住宅エコポイント) × 10% 【上限60万円】
国・県・市あわせて最高220万円の助成

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

TEL 584-3077
FAX 584-3466